

3. コンクール受賞作品一覧

中学生の部

- 最優秀賞
 - ・言葉「備えあれば憂いなし」
 - 題名「支え合い」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 優秀賞
 - ・言葉「七転び八起き」
 - 題名「私のお母さん」・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
 - ・言葉「情けは人のためならず」
 - 題名「知らない人への手助け」・・・・・・・・ 10
 - ・言葉「艱難汝を玉にす」
 - 題名「立派な人になるために」・・・・・・・・ 11
 - ・言葉「人事を尽くして天命を待つ」
 - 題名「人事を尽くして天命を待つ母の姿」・・・ 12

(学校・学年は令和2年度時点のものです。)

言葉「備えあれば憂いなし」
題名「支え合い」

宇都宮市立陽東中学校3年生
後藤 春菜さん





私の父は兵庫県出身で、過去に阪神淡路大震災を経験しました。
なので、父はその時の教訓を生かし、
水や電池などを常に備蓄するようにしています。

2011年3月11日に東日本大震災が起こりました。
電気が止まり、困惑していましたが、父の災害に対する備えのおかげで水や食料、
電池について困る事はありませんでした。
ただ、備えのなかったご近所さんはとても不便な生活を送る事になったのです。

そこで父は水や電池をご近所さんにくばって廻りました。
この行動は私にとっても大きな物となりました。

“支え合い”という言葉で動いていた父。

転売や物資不足などが相次いでいた時でもそれを忘れずにいた父を
私はすばらしいと思います。

私もいつか父のような心優しい人になりたいです。

「備えあれば憂いなし」という言葉があります。

**いつかその備えを誰もが困っている人に分けてあげる事が
出来る世界になったらいいなと思いました。**



言葉「七転び八起き」
題名「私のお母さん」

宇都宮市立田原中学校 1年生
田中 妙桜吏さん



喘息のせいで何回も
入院を繰り返して、命が
危なかった時もあった
と言っていました

私のお母さんは
小さい頃とても体が
弱かったそうです

お母さん！

大きい手術をした時でも、
私達の前では頑張って
笑顔でいてくれました

メキメキ

メキメキ

母親として、
人生の先輩として、
そして一人の人間
として尊敬しています

何回転んでも、
転んだだけ
起き上がった
前に進むお母さん



私のお母さんは、小さい頃すごく体が弱かったそうです。
喘息のせいで、何回も入退院をくり返し、
命が危なかった時もあったと言っていました。
学校にも丸一日居る事も少なく、
友達ともなかなか一緒に居られなかったのではないのでしょうか。
そこまで詳しくは話を聞いた事はありませんが、私だったら、
友達と居られないのは凄く嫌だな、と思いました。

4年前には、くも膜下出血の血管が破れる手前までいって、
入院して手術した時、凄くつらそうにしていたのに、
私達の前では、頑張って笑顔でいてくれました。

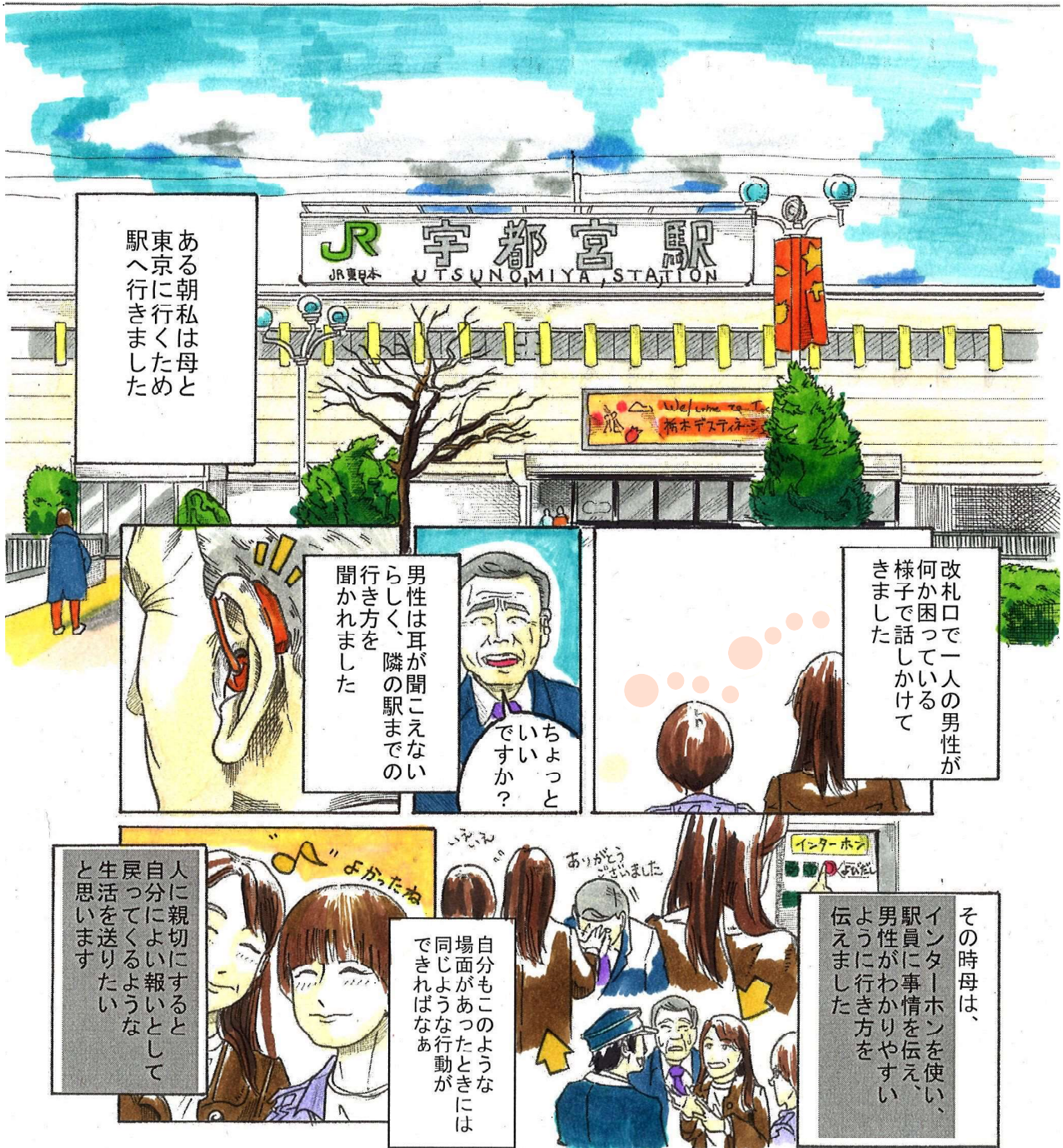
何回入院しても毎回毎回しっかり退院するお母さん。
一回膨らんでしまった血管が元に戻る事はないので、
お母さんの病気はたぶん治りません。
でも、一生懸命生きているお母さんは凄くと思います。

**何回転んでも、転んただけ起き上がって前に進んでいるお母さんは、
母親として人生の先輩として、そして一人の人間として本当に尊敬しています。**



言葉「情けは人のためならず」
 題名「知らない人への手助け」

宇都宮市立雀宮中学校 1年生
 大越 優佑さん





私が手本となる大人の行動にぴったりだと思った言葉は「情けは人のためならず」です。

ある日、私は母と東京に行くため朝に駅へ行きました。改札口のところまで行くと、1人の男性が何か困っている様子で話しかけてきました。

その男性は耳が聞こえないらしく、隣の駅へ行くのにはどうしたらいいかを聞かれました。改札口には駅員の方はいなく、駅員を呼ぶインターホンもその男性は使えません。

その時、**母はインターホンを使い駅員の方に事情を伝え、男性が分かりやすいように行き方を伝えました。**

一緒に駅まで行くことはできませんでしたが、**自分もこのような場面があったときには同じような行動ができればな**と思いました。

人に親切にすると自分によい報いとして戻ってくるような生活を送りたいと思ったので、「情けは人のためならず」にぴったりなこのエピソードを選びました。



言葉「艱難汝を玉にす」
題名「立派な人になるために」

宇都宮市立瑞穂野中学校 2年生
石下 瑠華さん





私はこの前、足が不自由で車いすを使っている大人をみかけました。その人は車いすを使っているので階段を上がれなかったり好きなどころに移動できなかつたりして苦勞していました。

でもその人は**何事も前向きに考えていて、ここからいけば上にいける、こうすれば自由に移動できるなどと色々なことを明るく考えていました。**またあきらめずに試行錯誤していろいろなことにチャレンジしていて立派な人だと思いました。

私はその大人を見て、**自分も色々な苦勞を乗り越えながら立派な人になりたい**と思いました。

苦勞を乗り越えるために頑張る姿こそ、子どもの手本となる大人の行動だと思います。その大人から**前向きに考えることの大切さとポジティブに今の状況を捉えることが立派な大人になるために必要なことだ**と思いました。



言葉「人事を尽くして天命を待つ」
 題名「人事を尽くして天命を待つ母の姿」

宇都宮市立瑞穂野中学校3年生
 秋山 穂昂さん





人事を尽くして天命を待つ。

私は、初めはこの言葉の意味がよく分かりませんでした。

私がこれを知ったのは昨年、母があることに挑戦したことがきっかけです。

母の姿を見て、私はこの言葉の意味を知り、自分を振り返ることができました。

私の母は昨年ある資格を取得するために試験に挑戦しました。

母は仕事や家事、私の塾の送り迎えなど、

やらなければならない事がたくさんあり、忙しそうでした。

ですが、私が夜遅くまで勉強して寝た後も、

母は眠そうな目をこすって試験勉強をしていました。

試験当日、会場に向かう母を私はできる限り応援しました。

試験は、あっという間に終わり、母はこう言いました。

「やることはやった。あとは人事を尽くして天命を待つしかない」と。

母は見事合格しました。

私は、**今後、母のように後悔のないよう、やれることは全て尽くし、**

天命を待てるような人になっていきたいです。

